

総合評価結果報告書

施設の名称	蒲原子育て支援センター		
課名	子ども未来課		
指定管理者名	特定非営利活動法人 子育て支援どろん子		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和4年6月7日(火)		
評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 阿部 薫夫(子ども未来課長) ②委員 原田 康弘(生活安心安全課長) ③〃 繁竹 三千代(青少年育成課長) ④〃 京井 麻由(静岡市子育て支援団体連絡会副会長) ⑤〃 湯浅 穂乃(静岡市子育て支援団体連絡会副会長)		
評価点 (各委員平均点)	87.6点	評価	A・ B ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>全体的に概ね良好な施設運営がなされている。特に地域のつながりが強く様々な場面で連携して事業展開している点については高く評価できる。</p> <p>利用者アンケートによる満足度については、非常に高い評価を得ている。また、アンケートの自由記述においても職員の対応等への好意的な意見が多く、日頃から丁寧で安全な施設運営ができている結果であり評価できる。</p> <p>一方で事業内容等の情報発信については、毎月の情報紙やホームページを通じて行っているものの、現代の子育て世代に合わせSNS等を活用した情報発信も求められ、今後工夫して取り組む必要があると考える。</p> <p>コロナ禍においても、利用者に安心して施設を利用してもらえるように、感染対策を徹底して事業を実施していた。</p> <p>今後においても、地域の子育て支援施設等との連携をとりながら、子育て支援拠点施設として地域の中心となり子育て支援事業を展開する施設運営を期待する。</p>		

総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [蒲原子育て支援センター] 課名 [子ども未来課]
 指定管理者名 [特定非営利活動法人 子育て支援どろん子]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 事業計画書等に基づいた事業が適切に実施されている。 (20点)	20	20	16	16	20	18.4
(イ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置されている。 (10点)	8	10	8	8	10	8.8
(ウ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施されてい る。(10点)	10	10	8	8	10	9.2
(エ) 当初予算に基づいた適切な予算執行が行われている。(10点)	8	10	6	8	10	8.4
小 計	46	50	38	40	50	44.8
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 指定管理者からの提案による指定管理者の持つノウハウや ネットワークなどを活かした事業が実施されている。(10点)	10	8	8	8	10	8.8
(イ) 施設利用(事業・イベントへの参加を含む)を促進するた めの方策が実施されている。(5点)	4	3	4	3	4	3.6
小 計	14	11	12	11	14	12.4
3 市民(利用者)のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けている。(10 点)	10	10	10	6	10	9.2
(イ) 利用者の意見・苦情等に速やかに対応している。(5点)	5	5	5	4	5	4.8
小 計	15	15	15	10	15	14
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 利用者の育児不安を解消するため、相談業務や子育てに関 する情報発信を積極的に行っている。(10点)	8	10	8	6	8	8
(イ) 市内各子育て支援関係機関や地域の子育て支援従事者との 連携を図った施設運営を行っている。(10点)	10	8	8	6	10	8.4
小 計	18	18	16	12	18	16.4
合 計	93	94	81	73	97	87.6

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・利用促進のための今までにない工夫はあったのか。（充分だったか）
- ・積極的な情報発信の具体的なものははっきりとみられない。
- ・位置（場所）の特性として、地域住民・団体とのつながりが強く子育てに関する中心的な施設としてうまく連携できている。

【B評価委員】

- ・立地上、地域性が強くなることはやむを得ないかもしれないが、市の事業であるため、広域の視点を持った事業も取り入れるべきではないかを感じる。
- ・蒲原地域以外からの利用者へのPRはどのようにしているのか。
- ・多様化する相談内容への対応方法等をミーティングで検討し、必要とされるサポートの提供に努めた体制は評価される。
- ・丁寧な対応により利用者からの評価は高く、工夫しながら真摯に取り組んでいることは評価される。

【C評価委員】

- ・繰越を毎年削減しているものの、もっと人件費や事業に使ってもいいのではないかと思う。
- ・相談事業において、定期的なミーティングの開催により情報交換やカンファレンスを行い、必要とされるサポートの促進に努めている点を評価する。

【D評価委員】

- ・地域とつながりが強いことが評価できた。
- ・センターの利用理由がかたよっていないという結果が現状の多様化している社会と一致していて評価できた。
- ・相談業務や情報発信、他施設との連携なども積極的に行っているように見受けられた。

【E評価委員】

- ・利用者減の中で新規利用促進のためのイベント等の実施等を期待する。
- ・SNS等を活用した情報発信を期待する。
- ・地域のこども園や小学校との密な連携がすばらしいと感じる。
- ・利用者減に対してコロナ禍だけではない影響も考えていくことを期待する。

評価委員会としての意見

全体的に概ね良好な施設運営がなされている。特に地域のつながりが強く様々な場面で連携して事業展開している点については高く評価できる。一方で周辺地域のみならず、市内の広域な視点を持って事業を実施されることも期待したい。

事業内容等の情報発信については、現代の子育て世代に合わせ、SNSの活用等工夫して取り組む必要があると考える。

利用者への丁寧な対応がされており、利用者アンケートによる満足度も高い数値となっていることから、今後においても更なる向上を期待する。